

アリス・ベイリー著  
『テレパシーとエーテル体』

読書会 & シェア会

生命システム研究所

あんどうさわこ・根本泰行

お願い: ZOOMでの表示名を参加申し込みをした時のお名前にしてください。

# 大祈願

神の御心の光の源より

光をあまねく人の心に流れ入れさせ給え  
光を地上に降らせ給え

神の御心の愛の源より

愛をあまねく人の心に流れ入れさせ給え  
キリスト（如来）よ、地上に戻られ給え

神の意志、明らかなる中心より

大目的が人の貧しき意志を導かんことを  
如来は大目的を知り、これに仕え給う

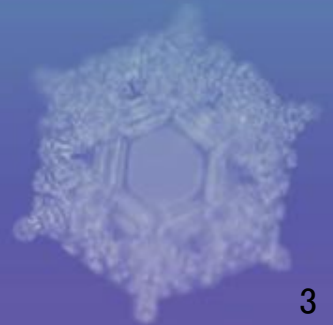
我らが人類と呼ぶ中心より

愛と光の大計画を成させ給え

悪の棲処すみかの扉を封じ給え

光と愛と力とをもて地上に大計画を復興させ給え

# 読書会



# 今日のスケジュール

読書会(21時5分位から1時間)

●担当:根本泰行

シェア会(読書会の後)

●担当:あんどうさわこ



**アリス・ベイリー** (Alice Ann Bailey, 1880年6月16日 - **1949年12月15日**)

神秘主義関係の作家で、神智学協会から派生した「アーケイン・スクール (不朽の知恵、秘教占星学)」の創立者。

米国では神智学協会に参加、ここでブラヴァツキーの著書に接し、協会員となった。1920年、アメリカ神智学協会で働く神智学者フォスター・ベイリーと再婚。その前年、大師 (マハトマ) の**ジュワル・クール** (英語版) からのメッセージを受け取るようになったという。

1922年、夫妻はルシファー出版社 (後年、**ルシス・トラスト** (英語版) に改名) を設立。1923年、彼女は「アーケイン・スクール」 (Arcane School) という団体を創設し、大師から受けたという教えを広めた。

『**テレパシーとエーテル体**』 Telepathy and the Etheric Vehicle. (**1950**)



### ジュワル・クール大師 (Djwal Khul) 翻訳書3~4頁

私は他の人々と同じような肉体をまとしてチベットの辺境に住んでいる。そして、私の責務が許すときには、（現世的な意味で）時にはチベットのラマ僧の大きな一団を統括している。私がこのラマ寺院の院長であると伝えられているのはこの事実によるものである。

私は一般の学ぶ人々よりも少しだけ長く道を歩み、そのためより大きな責任を負う、**あなた方の兄弟**である。

私が書いた本は、受け入れるよう要求することなく世に出される。それらは正しく真実で有益なものかもしれないし、そうではないかもしれない。それらが真実であるかどうかを適切な実践と直感の修練によって確信するのはあなた方の役目である。

語られていることが結果として確証に結びつくならば、もしくは、類似（対応）の法則のもとで照らし合せて正しいと思われるならば、それは申し分のないことである。しかし、そうでないならば、言われたことを受け入れてはならない。

# テレパシーとエーテル体

Telepathy and  
the Etheric Vehicle

アリス・ベイリー 著  
AABライブラリー 翻訳・発行

## 第二部 エーテル体に関する教え

- 1 エーテル体の性質…………… 162
- 2 非分離の基礎…………… 172
- 3 惑星と人間のセンター…………… 184
- 4 センターとパーソナリティー…………… 192
- 5 空間の性質…………… 203
- 6 惑星生命——太陽系の一つのセンター…………… 209

# アリス・ベイリー原著

[https://www.lucistrust.org/online\\_books/telepathy\\_and\\_the\\_etheric\\_vehicle\\_obooks](https://www.lucistrust.org/online_books/telepathy_and_the_etheric_vehicle_obooks)

## Telepathy And The Etheric Vehicle

### Sub-sections:

[SECTION ONE - TEACHING ON TELEPATHY - Part 1](#)

[SECTION ONE - TEACHING ON TELEPATHY - Part 2](#)

[SECTION ONE - TEACHING ON TELEPATHY - Part 3](#)

[SECTION ONE - TEACHING ON TELEPATHY - Part 4](#)

[SECTION ONE - TEACHING ON TELEPATHY - Part 5](#)

[SECTION TWO - TEACHING ON THE ETHERIC VEHICLE - Part 1](#)

[SECTION TWO - TEACHING ON THE ETHERIC VEHICLE - Part 2](#)

[SECTION TWO - TEACHING ON THE ETHERIC VEHICLE - Part 3](#)

## SECTION TWO - TEACHING ON THE ETHERIC VEHICLE - Part 1

TEACHING ON THE ETHERIC VEHICLE

### I. THE NATURE OF THE ETHERIC BODY

*See Chart Evolution of a Solar Logos*

Much that I may say here may be familiar to a certain extent, because there is a vast amount of information anent the etheric body scattered throughout my various books. It will have its value however if students can receive in a few pages a general idea and the basic concepts which underlie the teaching—or should I say, the fact? If they have the time, students would find it of profit to re-read what I said; run their eyes rapidly through the books and papers in search of the word "etheric." They will never regret it. Life itself, the training to be given in the future, the conclusions of science and a new mode of civilisation will all increasingly be focussed on this unique substance which is the true form to which all physical bodies in every kingdom in nature conform. Note that phraseology.

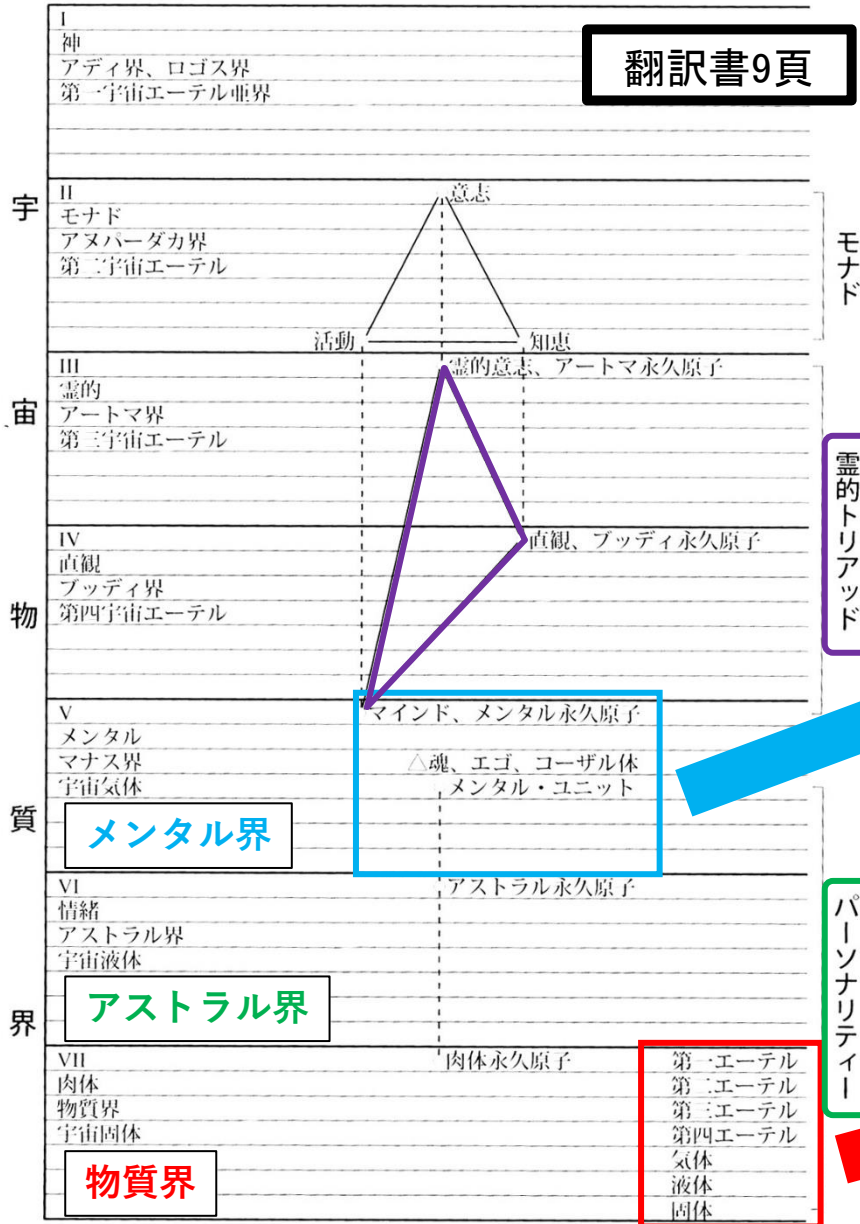


# 『ホワイト・マジック』より

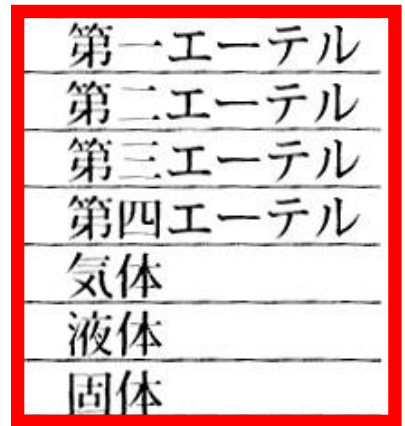
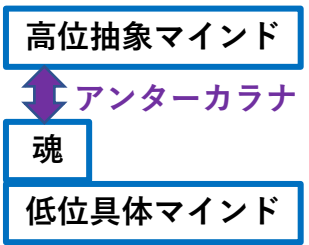
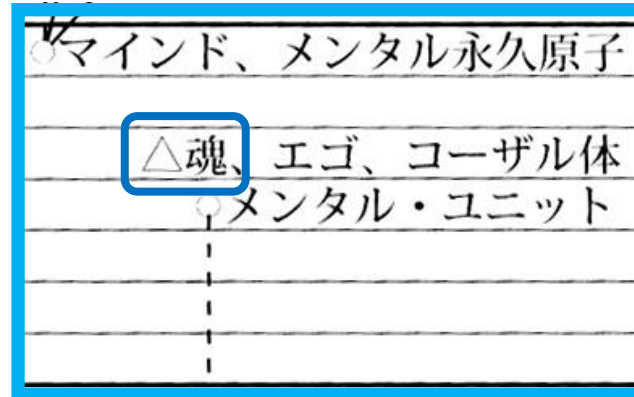
- エーテル体は万物の実質のうち、科学者と研究者が次に研究すべき様相である。
- エーテル体を通してすべてのエネルギーが流れ入る。それが魂から発せられるものであれ、太陽や惑星からのものであれ。

# 私たちの太陽系の七つの界層

翻訳書9頁



## エーテル体・アンターカラナ・ 霊的トリアッドなど



### 人間の構造

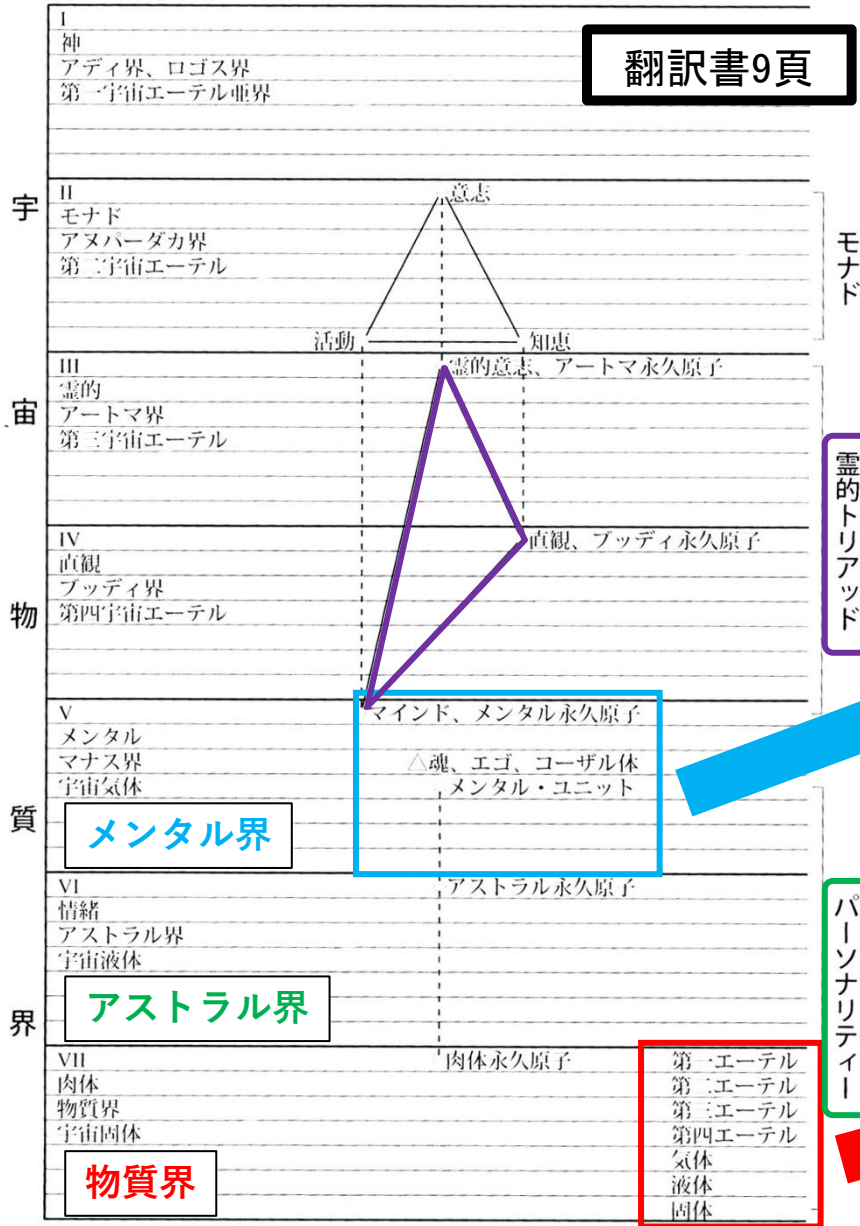
# 「アンターカラナ」に関する訂正

## Yukoさんからのコメント

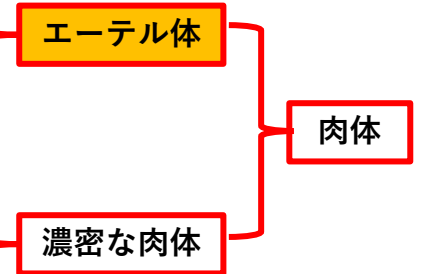
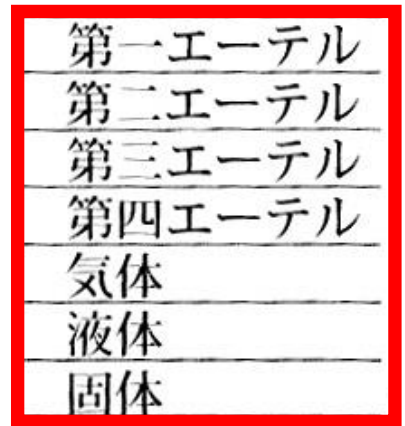
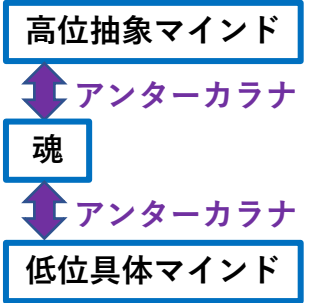
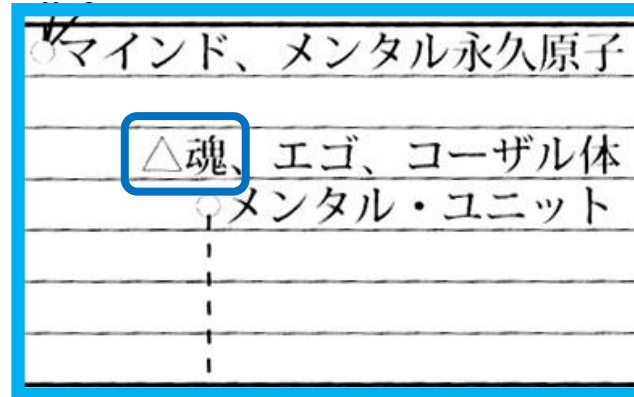
- 先月の『テレパシーとエーテル体』読書会開催ありがとうございました。
- その際、太陽系の七界層の図を用いて、アンターカラナは魂～高位抽象マインドのみを繋ぐ橋であると、説明されていたと思います。
- しかし通常アンターカラナは、メンタル界の3つの様相(低位具体マインド～魂～高位抽象マインド)の裂け目に橋を架けることを指します。
- まずはこのうちの低位の橋(低位具体マインド～魂)を架けて魂と繋がるのが目標になっています。
- P170の1は生命の糸(スートラートマ)、P171の2は意識の糸(アンターカラナ)についての説明になります(広義の意味ではどちらもアンターカラナと呼ぶこともあります)。
- どうぞよろしく申し上げます。

# 私たちの太陽系の七つの界層

翻訳書9頁



## エーテル体・アンターカラナ・ 霊的トリアッドなど



### 人間の構造

2023年4月20日(木)

# 『テレパシーとエーテル体』

## 2 非分離の基礎

172頁、1行目から始めます！

# 創造的想像力 (Creative Imagination)

日本創造学会のサイトより <https://keywordjapancreativity.jp/>



- **想像**とは、心像を頭に思い浮かべることでもある。
- 過去の経験をそのまま思い浮かべることを「**再生的想像**」といい、過去の経験を解体し、再構成して新しいイメージをつくることを「**創造的想像**」という。これには、空話、夢想、空想といったものから、発明や創作に至るまでのあらゆるレベルのものが含まれる。
- **創造的想像**は、人間生活にとって大きな役割を持っているといえる。あらゆる問題解決において、従来とは異なった解決策を見出すのに欠かせないものであり、**創造的想像**によって人間は現実の行動に先立って、行動を試行でき、試行錯誤を省略することが可能となるのである。

# 『テレパシーとエーテル体』

p.172: 3行目-5行目

- 【翻訳】私の言うリアリティーとは、顕現している**私たちの惑星生命において分離はありえない**ということである—さらに言えば、私たちの惑星の越えられざる輪の外においても分離はありえない。
- 【原文】The reality to which I refer is that there is **no possible separateness in our manifested planetary life — or elsewhere for that matter**, even beyond our planetary ring-pass-not.
- 【根本私訳】私の言うリアリティーとは、顕現している**私たちの惑星生命においては分離はありえない**ということである—**さらに言えば、他のどこにおいても分離はありえないのであり**、私たちの惑星の越えられざる輪の外においてすら、分離はありえないのである。

# 『テレパシーとエーテル体』

p.172: 後ろから5行目

- 【翻訳】存在する唯一の相違は意識における相違であり、とりわけ人間の意識とブラック・ロジの意識の間には大きな相違がある。
- 【神尾先生のブログ「ホワイトマジックとは」より】「ホワイトロジ」のマスター方は、この地上に霊的なエネルギーを浸透させ、「地上天国」「神の御国」を実現するために働かれています。一方で、「ブラックロジ」の大主方はそれを何とか阻止し、物質的な支配をさらに強めようとしています。
- 【「秘教治療(下)」p.334-335】悪の源であるブラック・ロジについて議論することは望ましいことでも賢明なことでもない。エネルギーは思考に従う(略)ブラック・ロジはホワイト・ロジの問題であって、人類の問題ではない。



# 『テレパシーとエーテル体』

p.172: 後ろから4行目

- 【翻訳】**唯一なる生命**しか存在せず、それが—私たちが知っているように—全体としてこの惑星を構成する多くの形態に流入している。
- 【原文】There is only **the ONE LIFE**, pouring through the mass of forms which, in their sum total, constitute our planet — as we know it.

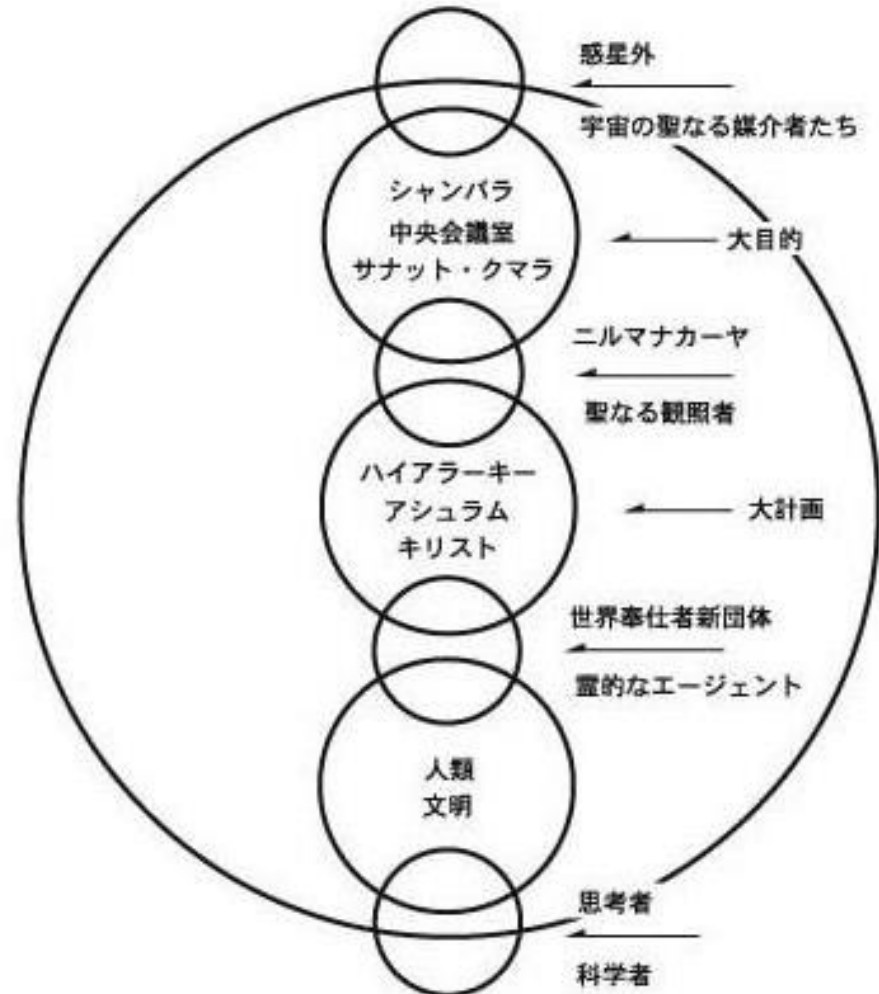
\* \* \*

- 【ダスカロスの言葉】**絶対無限の存在** (= **唯一なる生命**)
- 【根本試論・私論】  
【原理1】(一者性) **唯一の『絶対無限の存在』**が存在する。

# 『トランス・ヒマラヤ密教入門』

第2巻 [生命としての地球] p.28

- シャンバラ  
惑星の ヘッド・センター
- ハイラーキー  
惑星の ハート・センター
- 人類  
惑星の 喉センター



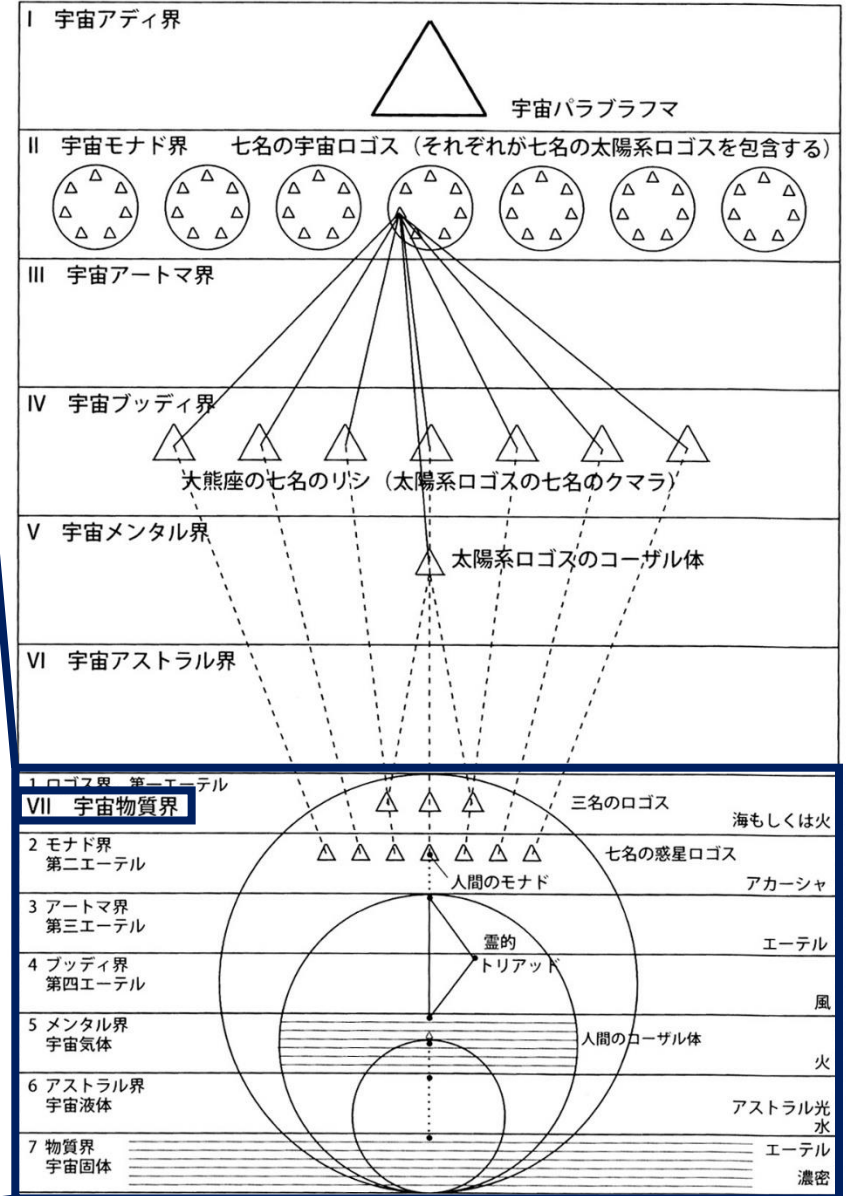
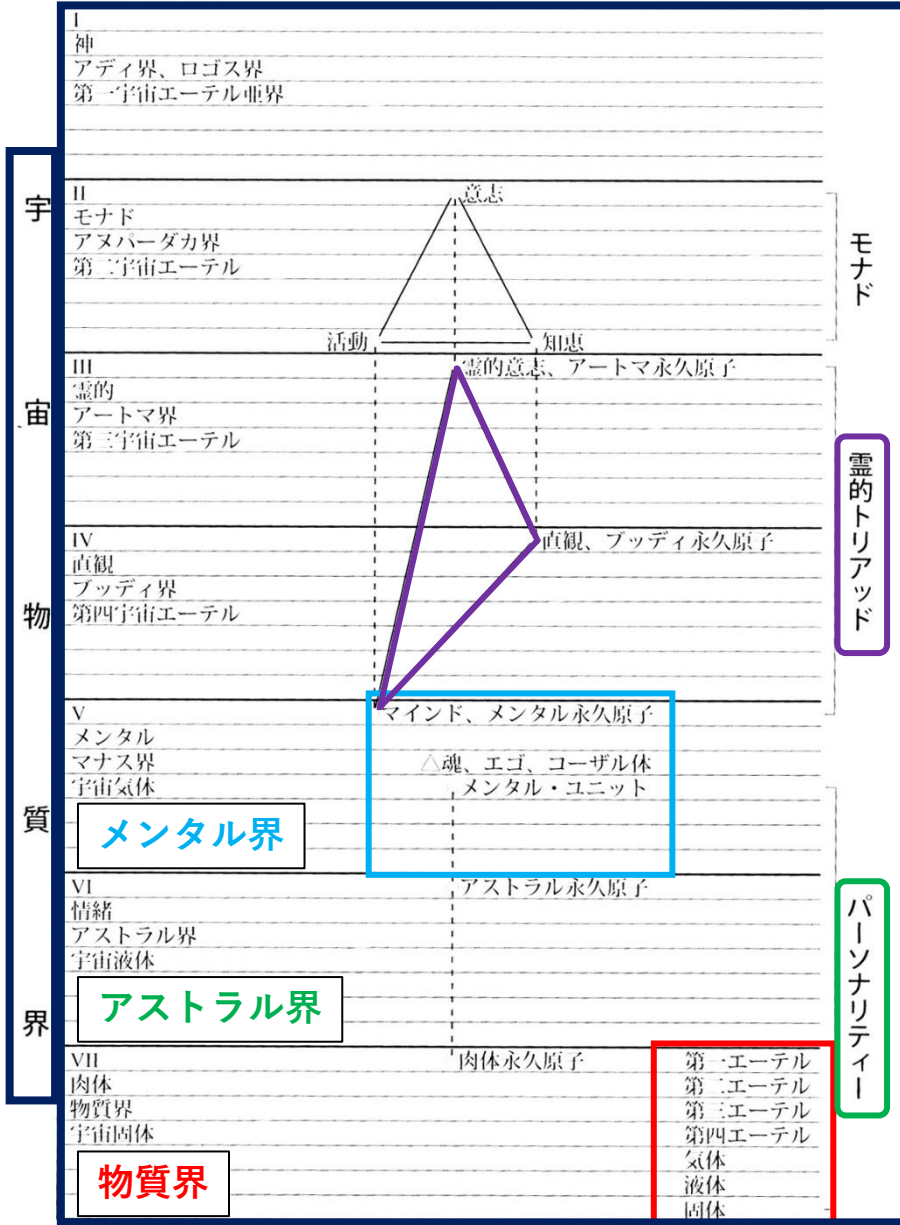
人間以下の三つの自然王国

(これらは、秘教的に言って、上図で挙げた三つの主要グループの反映である)

# 私たちの太陽系の七つの界層

# 宇宙物質界

# 太陽系ロゴスの進化



## 人間の構造

# アリス・ベイリーの全著作一括検索方法

## (但し英語原著のみ)

以下のキーワードを使ってググる！

“**検索語**” [site:www.lucistrust.org/online\\_books/](http://site:www.lucistrust.org/online_books/)

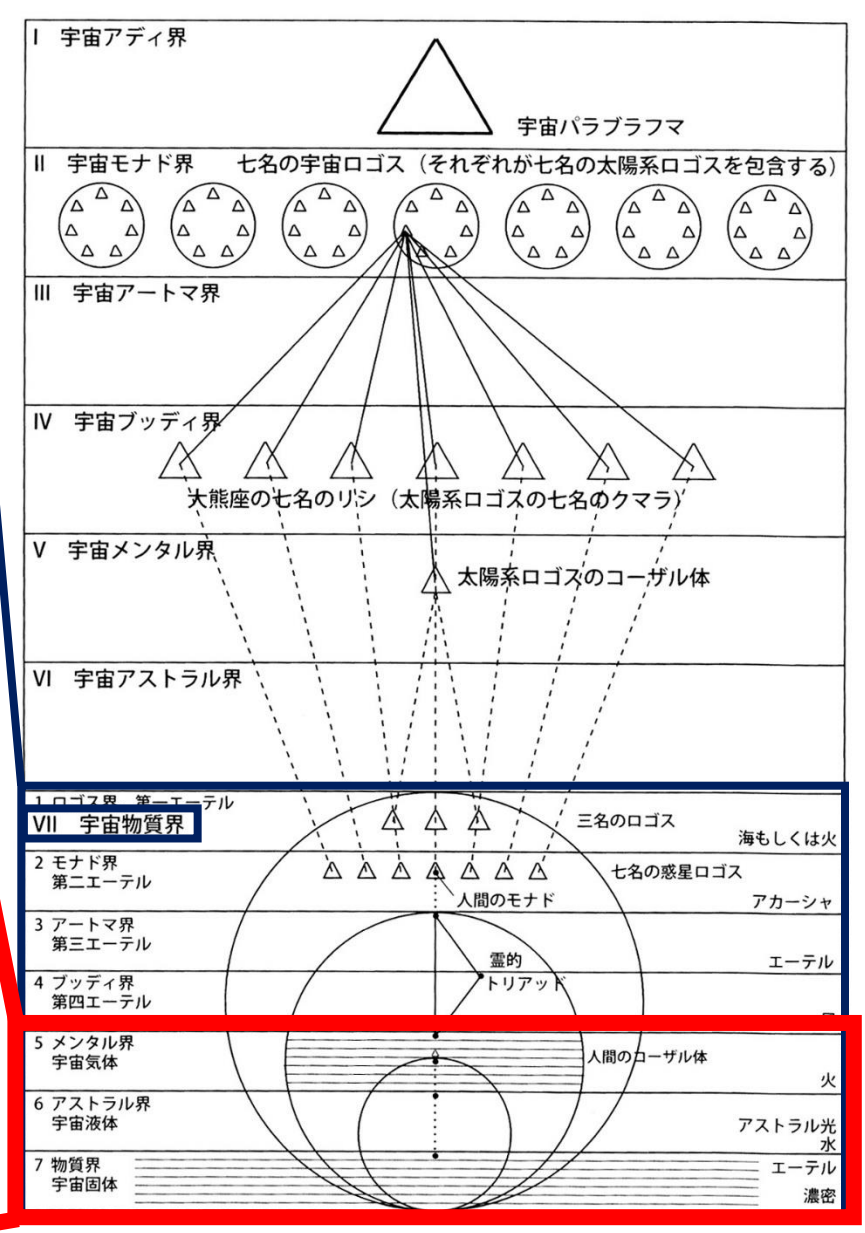
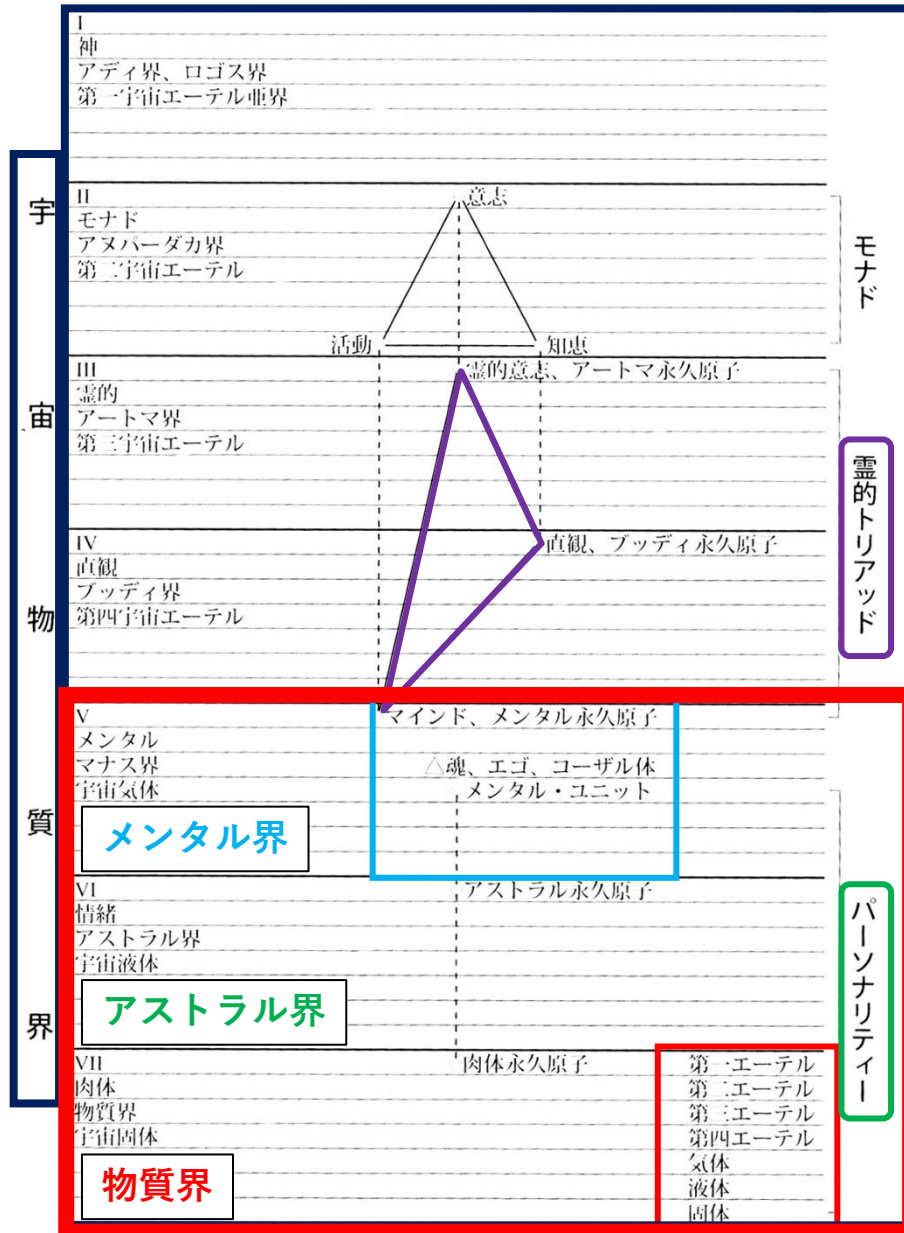
例：**三界**を調べる “**three worlds**” [site:www.lucistrust.org/online\\_books/](http://site:www.lucistrust.org/online_books/)

- 【英語原文“Rays and The Initiations”】It must be remembered that from the point of view of esotericism, all forms in the **three worlds** are tangible, in contradistinction to forms in the two higher worlds of the Spiritual Triad.(略) This is only a reflection of the three planes of the **three worlds** and the four planes from the buddhic plane up to the logoc, which constitute the cosmic physical plane.
- 【翻訳『光線とイニシエーション(上)』 p.387】秘教的な観点から見れば、**三界**のすべての形態は、**靈的トリアッドの高位の二つの世界の形態**と比べれば、触知できるものであることを覚えておかなければならない。(略)これは、**宇宙物質界を構成する三界の三つの界層とブッディ界からロゴス界までの四つの界層**の反映でしかない。
- 【根本解釈】すなわち、**三界**とは、**物質界/エーテル界、アストラル界、メンタル界の3つの界層のこと**である。

# 私たちの太陽系の七つの界層

## 三界とは？

# 太陽系ロゴスの進化



## 人間の構造

# 『テレパシーとエーテル体』

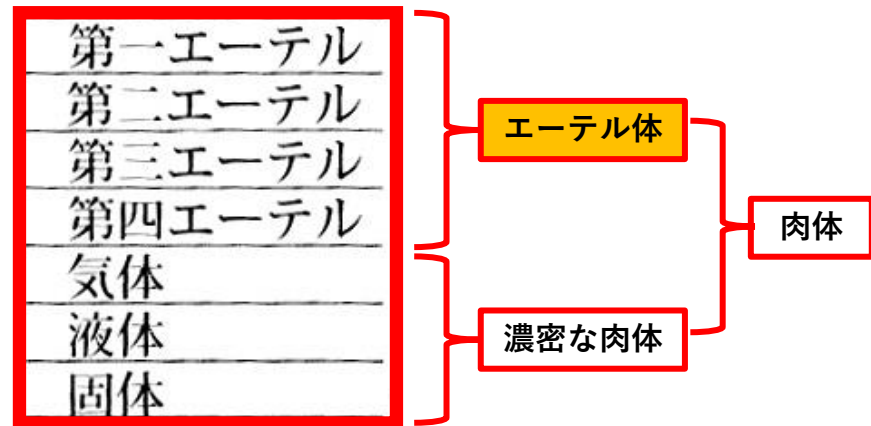
p.174:7行目-10行目

- 【翻訳】したがって彼らは、**三界**—宇宙物質界の濃密な物質レベル—に存在する形態に強調を置くことによって根本的に分離している。これらのレベルの最低レベルにおいて外的な物質形態は、エーテル界の四つのレベルの最低レベルから来るエーテル・エネルギーを介して、循環するエネルギーに反応し感応しているのである。
- 【根本補足】したがって彼ら(=大部分の人類)は、三界—宇宙物質界の濃密な物質レベル(=物質界/エーテル界、アストラル界、メンタル界)—に存在する形態に強調を置くことによって根本的に分離している。これらのレベルの最低レベル(=物質界/エーテル界)において外的な物質形態(=**固体/液体/気体** **亜層**)は、エーテル界の四つのレベルの最低レベル(=**第四エーテル** **亜層**)から来るエーテル・エネルギーを介して、循環するエネルギーに反応し感応しているのである。

# 『テレパシーとエーテル体』

p.175:8行目

- 【翻訳】1 エーテル体そのものが四つのタイプの質料でできており、その各々が明確に異なった性質を持ち、いずれかのエーテル・レベルに存在していること。



神智学大要・第1巻・エーテル体(79,83,84頁)

- 原子(アトミック)体…生物の脳から脳へ思念を伝達する媒体
- 亜原子(サブアトミック)体…電気の中でも特に精妙な電気の媒体
- 超幽(エーテル)体…光の媒体
- 幽(エーテル)体…通常の電気や音の媒体
- ガス体
- 液体
- 固体

# 『テレパシーとエーテル体』

p.176:1行目-5行目

- 【翻訳】3 これらの経路つまり管は—それが運ぶエネルギーのタイプに応じて—**三種類の主要な拠点**を經由して肉体のある部分へと進む。
  - a. あなた方がよく聞かされてきた**七つの主要センター**
  - b. **二十一の小さなセンター**。それについては以前概括した(『秘教治療(上)』 p.100-p.101)
  - c. **四十九の焦点**。これは全身に分布している。

## 【参考】21の小さなセンター

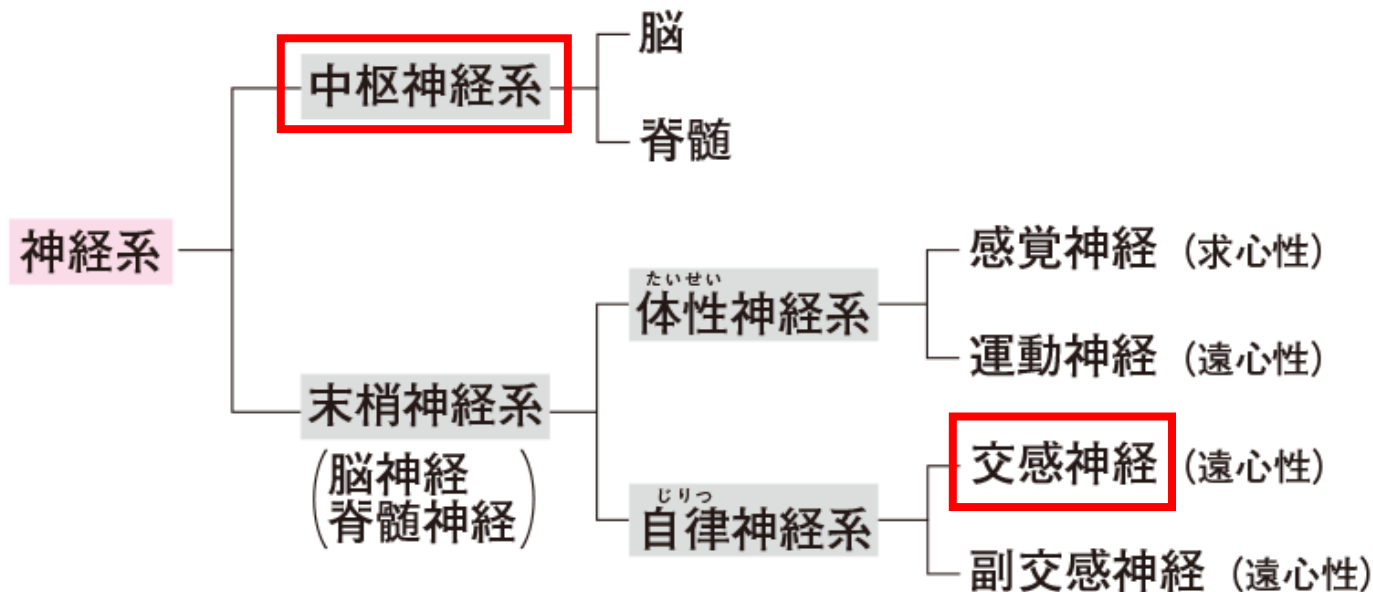
- 両耳の前方、上下顎骨が接合しているところの近くに2つ。
- 両胸のすぐ上に2つ。
- 甲状腺の近く胸骨が合わさるところに1つ。
- 両手のひらに1つずつ、計2つ。
- 両足の裏に1つずつ、計2つ。
- 両目のすぐ裏側に2つ。
- 生殖腺に関係して2つ。
- 肝臓の近くに1つ。
- 胃に関係して1つ。
- 脾臓に関係して2つ。
- 両膝の裏側に1つずつ、計2つ。
- 迷走神経に密接に関係しているセンターが1つ。
- 太陽神経叢の近くに一つ。



# 『テレパシーとエーテル体』

p.176: 後ろから5行目

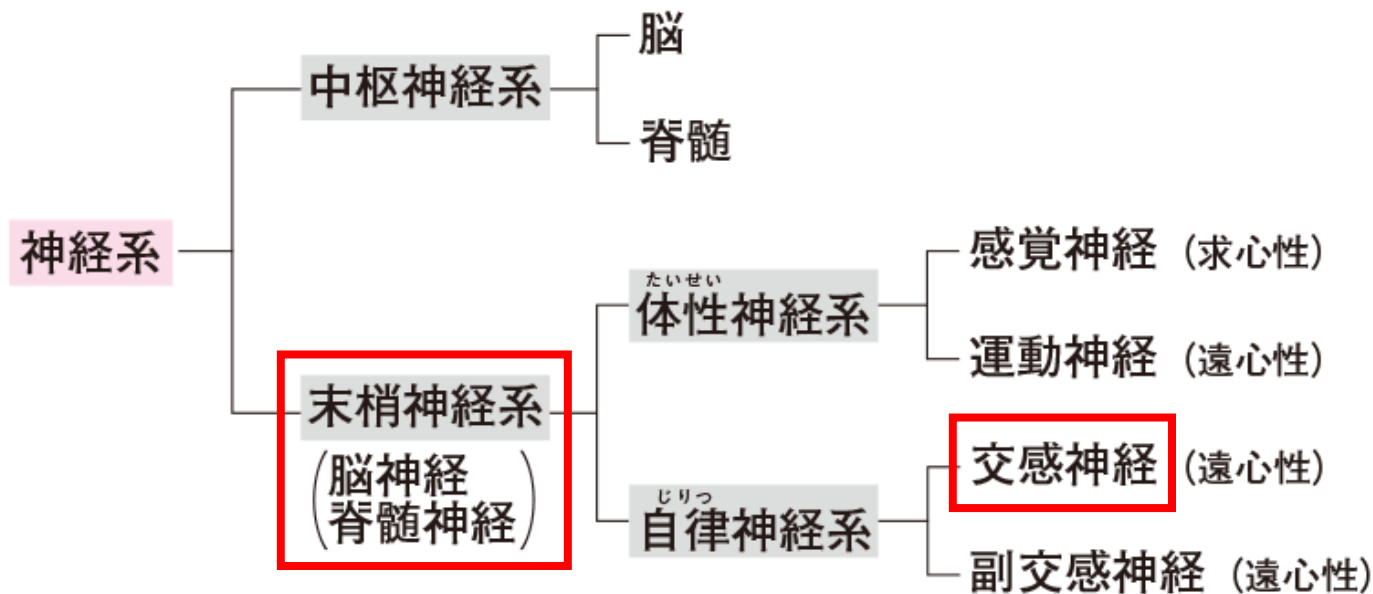
- 【翻訳】これらが、全体としてのエーテル体を、科学が認知している二重の神経系（中枢神経系と交感神経系）全体と関係づけている。神経の基礎になるこのシステムこそが真の感応装置であり、一脳を經由して一マインドに情報を伝達し、魂が脳とマインドを經由して情報を得られるようにしているのである。
- 【根本コメント①】まず「二重の神経系（中枢神経系と交感神経系）」という表現については、カテゴリーエラーであって、間違いであると思われる。



# 『テレパシーとエーテル体』

p.176: 後ろから5行目

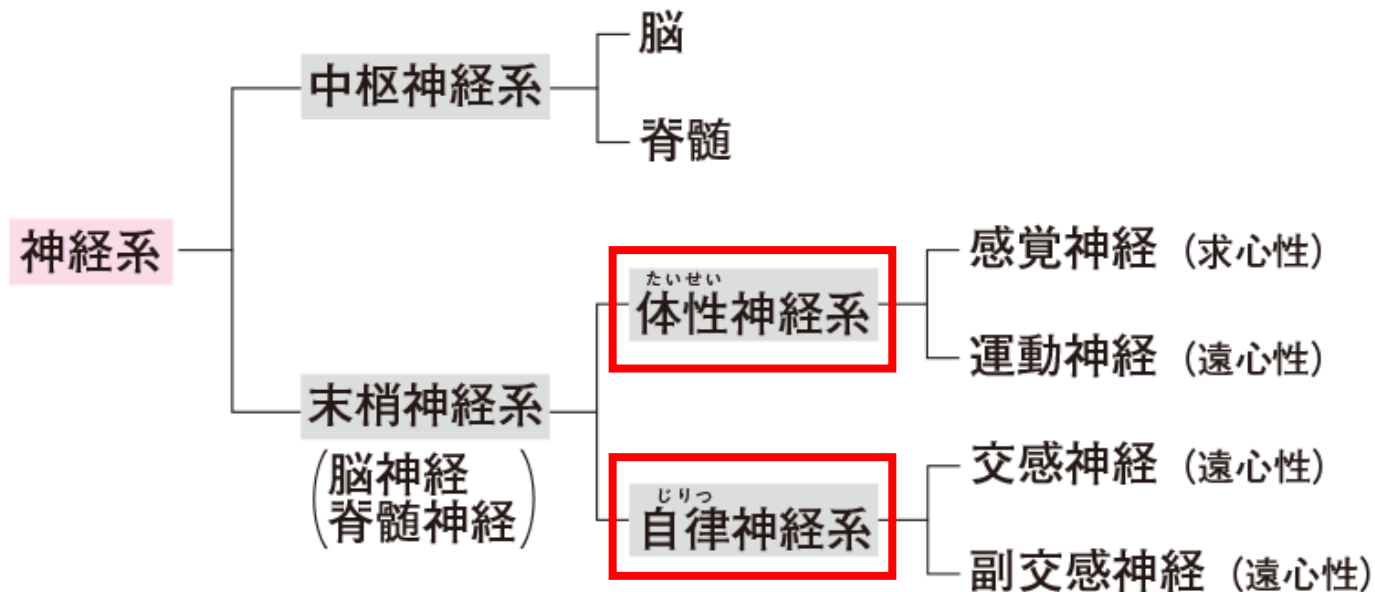
- 【翻訳】これらが、全体としてのエーテル体を、科学が認知している二重の神経系（中枢神経系と交感神経系）全体と関係づけている。神経の基礎になるこのシステムこそが真の感応装置であり、一脳を經由して一マインドに情報を伝達し、魂が脳とマインドを經由して情報を得られるようにしているのである。
- 【根本コメント②】「中枢神経系」の原語はcerebro-spinal nervous systemであり、「脳脊髄神経」と翻訳すべきであろう。なぜなら後に「脳」が出てくるから。



# 『テレパシーとエーテル体』

p.176: 後ろから5行目

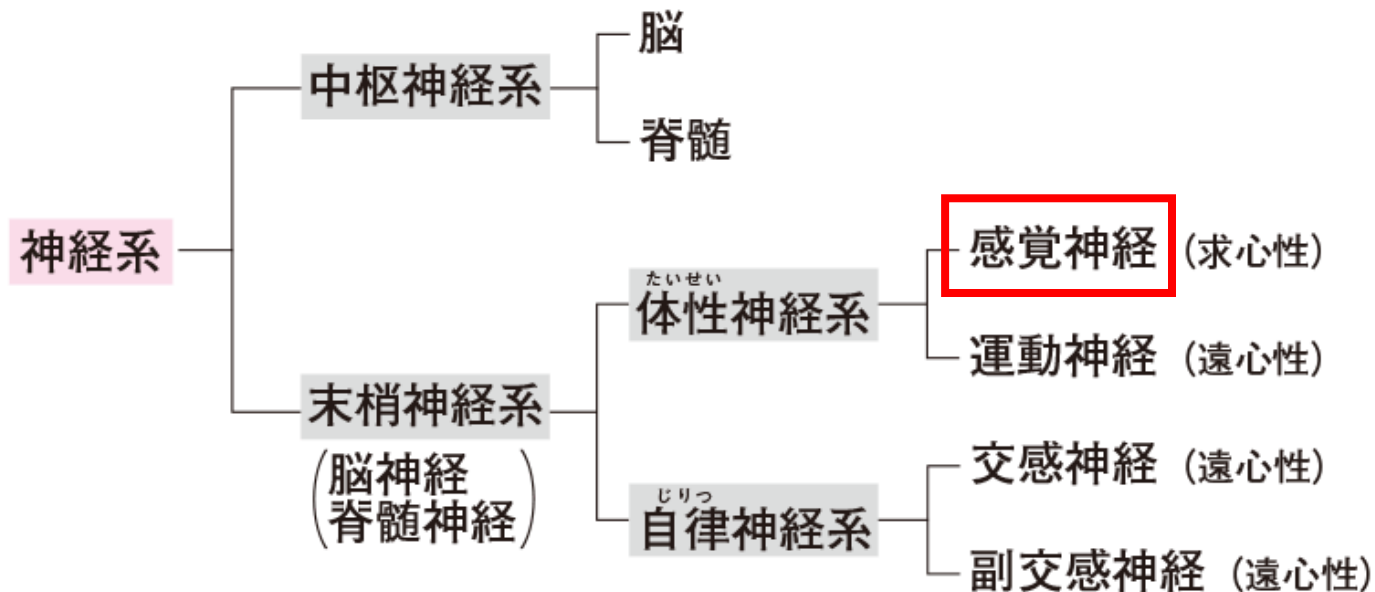
- 【翻訳】これらが、全体としてのエーテル体を、科学が認知している二重の神経系（中枢神経系と交感神経系）全体と関係づけている。神経の基礎になるこのシステムこそが真の感応装置であり、一脳を經由して一マインドに情報を伝達し、魂が脳とマインドを經由して情報を得られるようにしているのである。
- 【根本コメント③】さらに二重の神経系というのであれば、カテゴリーとしてもっとも適切なのは、「体制神経系」と「自律神経系」であるように思われる。



# 『テレパシーとエーテル体』

p.176: 後ろから5行目

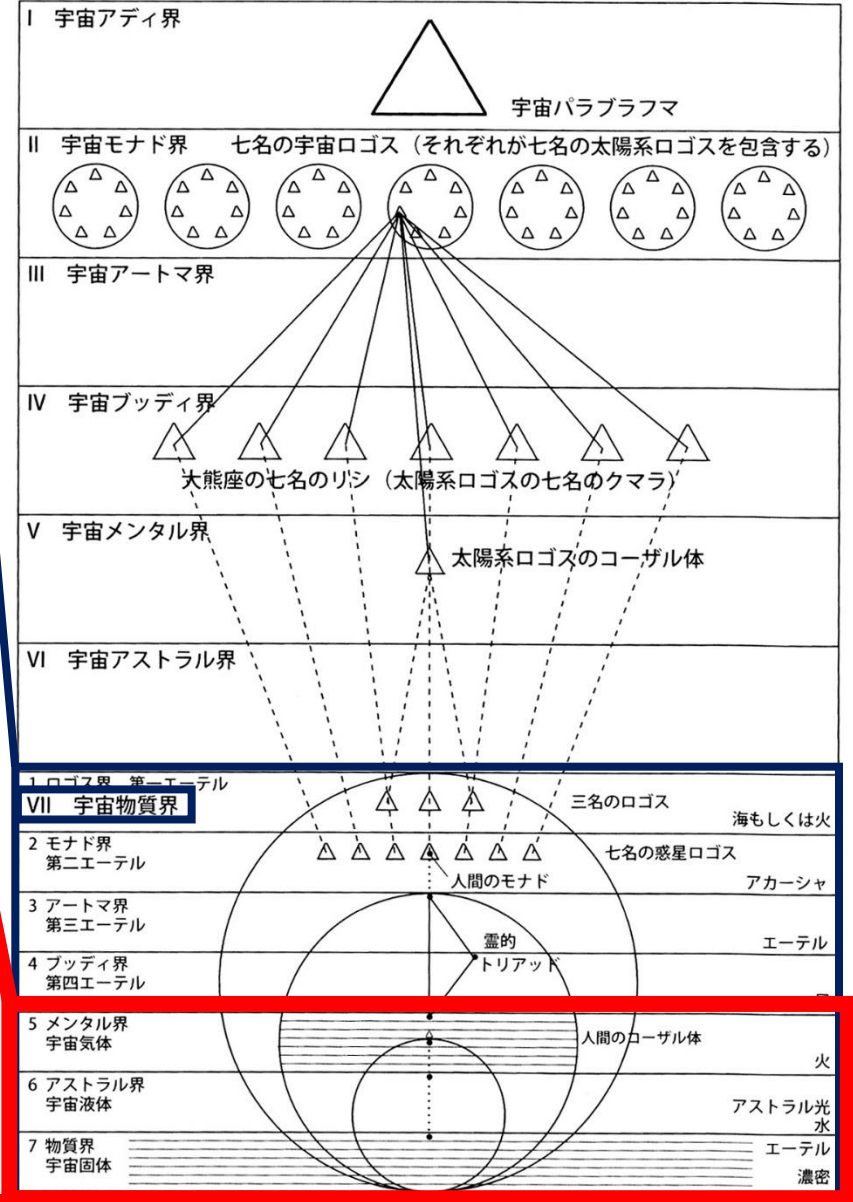
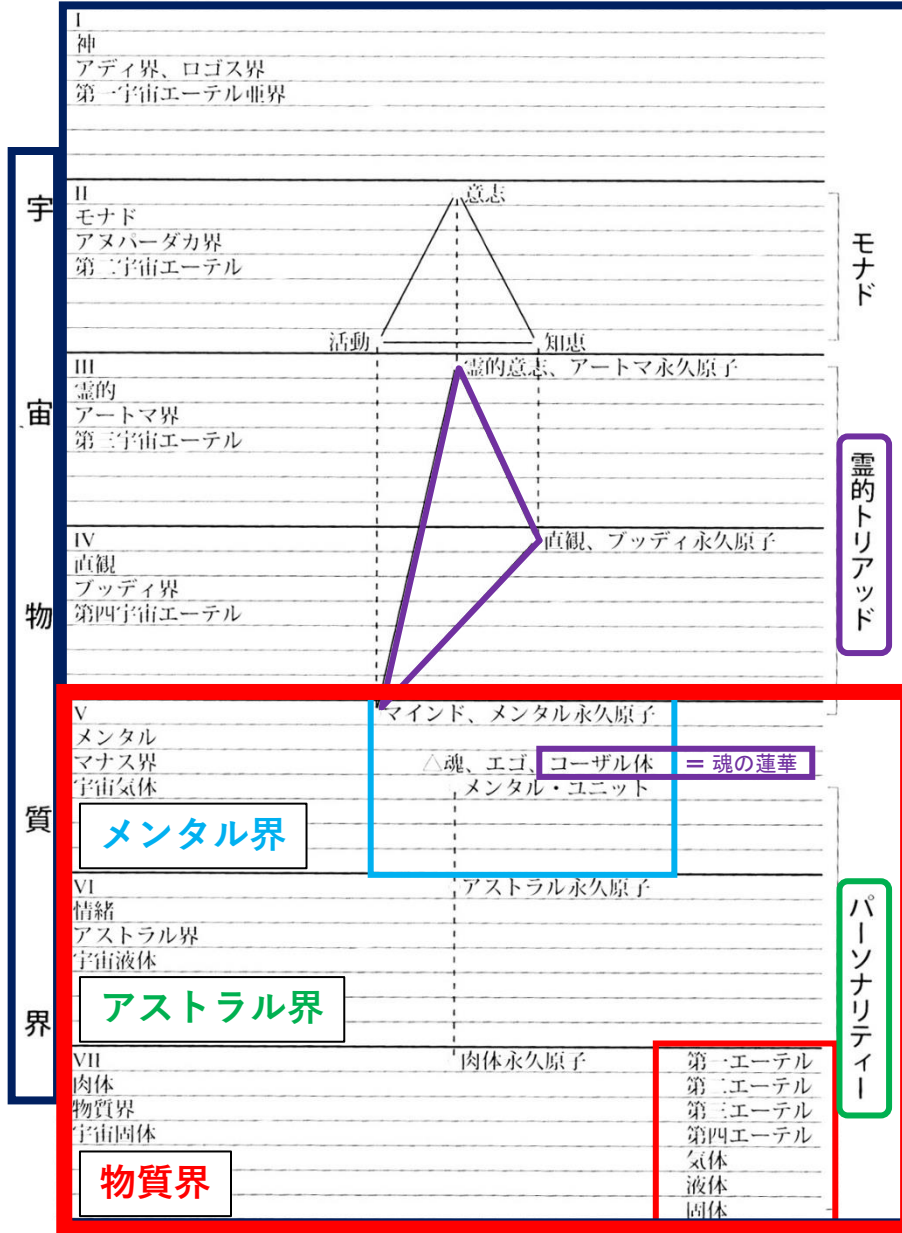
- 【翻訳】これらが、全体としてのエーテル体を、科学が認知している二重の神経系（中枢神経系と交感神経系）全体と関係づけている。神経の基礎になるこのシステムこそが真の感応装置であり、一脳を經由して一マインドに情報を伝達し、魂が脳とマインドを經由して情報を得られるようにしているのである。
- 【根本コメント④】さらに真の感応装置というのであれば、適切なのは求心性の「感覚神経」のみであるとも言える。「感覚神経」⇒「脳」⇒「マインド」⇒「魂」



# 私たちの太陽系の七つの界層

## コーザル体

# 太陽系ロゴスの進化



# 人間の構造

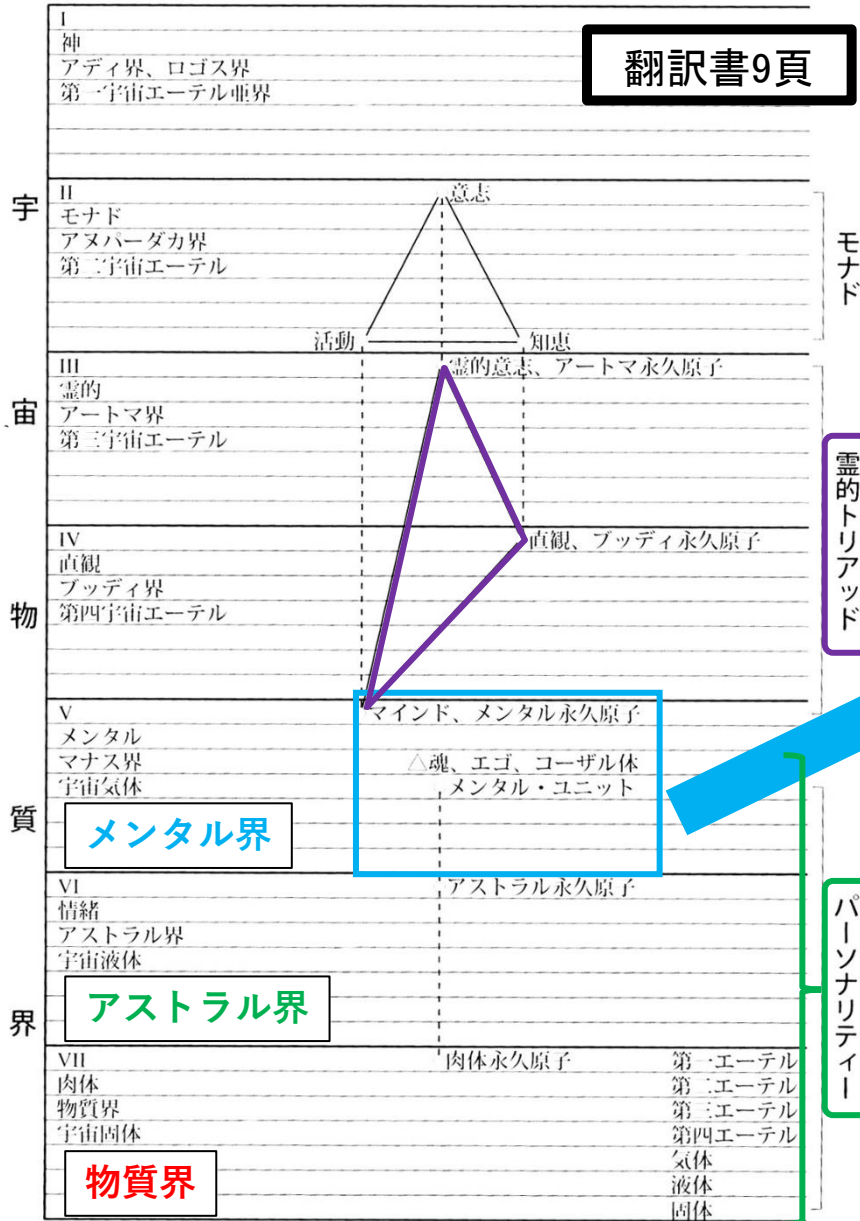
# 『テレパシーとエーテル体』

p.176: 後ろから2行目

- 【翻訳】霊的トリアッドと魂を吹き込まれたパーソナリティーをすでに関係づけ、したがって魂体つまりコーザル体、魂の蓮華が完全に消え去り、それがもはやどのような真の重要性もなくなったイニシエートが完全に意識して用いるのは、このナディーのシステムである。このナディーのシステムと創造過程にあるアンターカラナとの間には特殊な、そして今のところ説明不可能な関係がある。
- 【根本補足①】**魂体 = コーザル体 = 魂の蓮華**
- 【根本補足②】**「霊的トリアッド」と「魂」、そして「魂」と「パーソナリティー」**の間に**アンターカラナの橋**を架けることができれば、**魂体 = コーザル体 = 魂の蓮華**は消え去る。
- 【根本補足③】**「創造過程にあるアンターカラナ」**は、忠実な翻訳としては、「創造過程にある、もしくは既に創造された、アンターカラナ」となる。

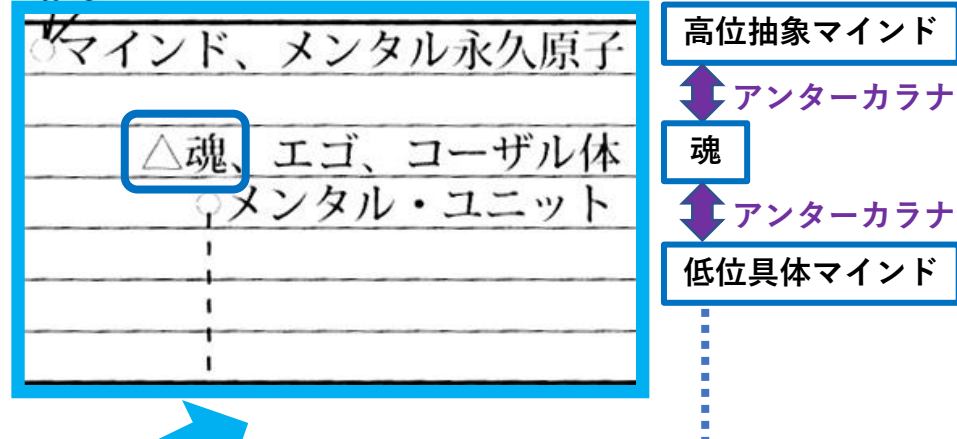
# 私たちの太陽系の七つの界層

翻訳書9頁



人間の構造

## 霊的トリアッド、アンターカラナ、パーソナリティー



- 【『新しい時代の教育』p.27】教育は新時代において、マインド性質の三つの様相間にあるこの断絶に橋を架けることにも関わるべきである。つまり、**魂と低位マインド**の間に橋を架けることで、**魂とパーソナリティー**を一体化し、さらに**低位マインドと魂と高位マインド**の間に橋を架けるのである。人類は今、これを行う準備が整っており、人類史上初めてこの橋を架ける仕事を比較的大規模に進めることができる。
- 【『光線とイニシエーション(上)』p.208】イニシエーションの道の後半段階において、(アストラル体に続いて)**コーザル体**もまた消え去り、**イニシエートは三界**において自由になる。

お知らせ



# 生命システム研究所

<https://life-system-labo.com/>

## ● 人工知能(AI)は意識を持つことができるだろうか？

ハード・プロブレムという概念の提唱者デビッド・チャーマーズの講演と論文を元にして

詳細:準備中、申込:準備中

日時: 5月5日(金) 19:00~21:00(ZOOMのみ) または  
5月7日(日) 13:30~15:30(会場 または ZOOM)

5月5日と5月7日の内容は同じです。

参加費: 4,000円

## ● <アップデート版>何があっても大丈夫 —「宇宙の創造原理」と「意識の二階層論」

詳細:準備中、申込:準備中

日時: 6月23日(金) 19:00~21:00(ZOOMのみ) または  
6月25日(日) 13:30~15:30(会場 または ZOOM)

6月23日と6月25日の内容は同じです。

参加費: 6,000円(前回参加者は半額)

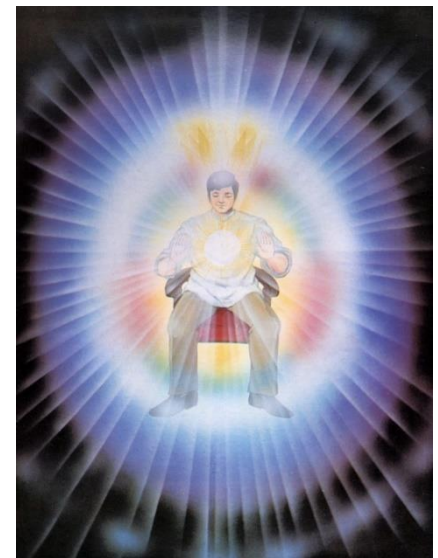
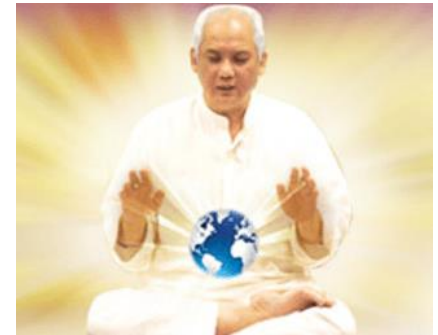
# 満月ツインハート瞑想会

毎月満月の日の21時～22時に、ZOOM上で無料で開催します。  
初心者大歓迎！ 聖なる愛と光を地球全体に送るための瞑想法です。

- 2023年5月6日(土)21時～22時、担当:根本泰行
- 2023年6月4日(日)21時～22時、担当:あんどうさわこ
- 2023年7月3日(月)21時～22時、担当:あんどうさわこ
- 2023年8月2日(水)21時～22時、担当:根本泰行
- 2023年8月31日(木)21時～22時、担当:あんどうさわこ
- 2023年9月29日(金)21時～22時、担当:あんどうさわこ
- 2023年10月29日(日)21時～22時、担当:根本泰行
- 2023年11月27日(月)21時～22時、担当:あんどうさわこ
- 2023年12月27日(水)21時～22時、担当:根本泰行

必ずウェブサイトから申し込んでください。

<https://life-system-labo.com/2022-3twinheart/>



2023年1月22日より、毎月新月の日の21時からアリス・ベイリー著『テレパシーとエーテル体』の読書会とシェア会を開催しています。ウェブサイトから申し込んでください。

# シェア会

